

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ

墨田区



世界的な芸術家、葛飾北斎の美術館

生誕地に開館!!

すみだ北斎美術館

幻の絵巻など約1,500件の北斎一門の作品を収蔵

墨田区の新たな観光の核となる「すみだ北斎美術館」が平成28年11月22日に開館しました。

世界的な芸術家として評価の高い「葛飾北斎」(1760~1849年)は、本所割下水(現在の北斎通り)付近に生まれ、およそ90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながら、優れた作品を数多く残しました。

作品の中には両国橋や三囲神社など、当時の区内の景色を描いたものが数多くあります。特に、開館に際して公開された「隅田川兩岸景色図巻」は海外に流失し、100年余り行方がわからなかった幻の絵巻で、北斎壮年期の傑作の一つとされています。こうした貴重な収蔵品は、現在約1,500件にのぼります。



富嶽三十六景 凱風快晴 (提供:すみだ北斎美術館)



美術館外観 (写真提供:すみだ北斎美術館)

美術館内観



斬新な外観デザイン

斬新なデザインの建物は、建築界のノーベル賞ともいわれるプリツカー賞を受賞した妹島和世氏による設計。アルミパネルで覆われた外壁は下町の風景を映し込み、周辺に溶け込むように考えられています。建物全体はスリットにより分割され、隣接する公園や道路のどの方面からも入館できる、開放的な構造になっています。北斎の作風と共通する独創性は美術館の建物にも生かされているようです。

見て、触れて、体感しながら北斎を学ぶ

展示は、「企画展」と「常設展」があります。企画展では、調査研究に基づいた多彩なテーマで北斎作品などを紹介し、常設展では、北斎とすみだの関わりや生誕から晩年までの北斎の生涯に沿って、年代ごとの代表作を紹介しています。また常設展示室には、タッチパネル式情報装置を設置し、北斎の作品に親しみながら、見て・触れて・体感できる、いわば博物館的な要素も取り入れたコーナーも充実しています。



北斎ゆかりの地を紹介するインタラクティブマップ

ここもおすすめ
スポット

「旧安田庭園」



かつて隅田川の水を引いて潮入りとした庭園は、元禄時代に築造された回遊式庭園。日本式庭園の素晴らしさを堪能できる、憩いの公園です。

所在地 墨田区横網1-12-1
(最寄駅 都営大江戸線 両国駅A1 徒歩7分
JR総武線 両国駅西口 徒歩5分)

「すみだ北斎美術館」案内

所在地 墨田区亀沢2-7-2
(最寄駅 都営大江戸線 両国駅A3出口 徒歩5分
JR総武線 両国駅東口 徒歩9分)
電話 03-5777-8600(ハローダイヤル)
開館時間 午前9時30分~午後5時30分
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 毎週月曜日(ただし、祝日・振替休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、年末年始
常設展観覧料 一般 400円、大高生 300円、65歳以上 300円
※団体割引あり
企画展観覧料 企画展ごとに設定